



発行所
一般社団法人秋田中央建設業協会
発行人
田中道
〒010-0951秋田市山王4丁目3番7号
TEL 018-862-7778
akenkyo@akenkyo.or.jp
秋田中央建設業協会 検索



新任ごあいさつ

秋田地域振興局 農林部長
渡部 謙

このたびの人事異動により秋田地域振興局農林部長を命ぜられ着任しました渡部です。

一般社団法人秋田中央建設業協会員の皆様には、日頃より本県農林水産業の振興につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、農林水産業を取り巻く情勢は、米政策の見直しや国際通商交渉の進展等による産地間競争の激化に加え、人口の減少を背景として労働力の確保が難しくなるなど、一層厳しさを増しております。

県では、昨年度よりスタートした「第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン」に基づき、構造改革の流れをさらに加速し、「米依存からの脱却」を確かなものにできるよう、農林漁業振興臨時対策基金も活用しながら、米政策見直し等に伴う産地間競争の激化への的確な対応やICT・AI等の革新技術の活用など、若者が定着する産業振興への取組のほか、複合型生産構造への転換に向けた取組の一層の強化、「ウッドファーストあきた」の推進による木材需要の創出など、本県農林水産業の成長産業化を図っていくこととしております。

こうした中、秋田地域においても、地域を牽引する多様な経営体の育成、戦略的な秋田米の生産・販売、複合型生産構造への転換の加速化、県産材の安定供給体制の確立など6項目を重点推進事項と位置づけ、各市町村の現状等を踏まえながら、各種事業を展開してまいります。

米政策見直し等に伴う対応については、平成29年度に策定された「秋田米生産・販売戦略」に基づき、生産者・農業団体・行政が一体となって販売を起点とした米作りを推進するとともに、乾燥調整施設等拠点

施設についても計画的に整備を進めてまいります。

また、園芸メガ団地等大規模園芸拠点については、整備計画に掲げた目標の達成に向け、既存の男鹿・潟上地区(キク)、雄和平沢地区(枝豆、ネギ、ダリア)、男鹿五里合地区(業務用ネギ)、雄和相川地区(ネギ、枝豆)への支援を継続するとともに、新たに動き出した地区に対して経営管理指導や法人間連携など、立ち上がりを支援してまいります。

農村整備関係では、複合型生産構造の確立に向けて、農地の集積・集約化や高収益作物の産地づくりと一体になったほ場整備を強力に推進することとしており、特に秋田市周辺ではほ場整備への関心が高まり、昨年度末には管内初となる中間管理機構関連ほ場整備事業の十八石堰地区が採択され、今年度は、金足東部地区、畠谷地区、下黒瀬地区、高岳地区の4地区が新規採択となっております。また、老朽化や脆弱化した農業水利施設並びに漁港海岸施設について、施設の長寿命化及び防災・減災対策などにも引き続き計画的に取り組んでまいります。

森林関係では、森林経営計画作成を促進し、森林施業の集約化を図ることに加え、林業専用道の整備、伐採と植栽の一貫した流れを促進いたします。

また、低コスト生産のための高性能林業機械の導入、木材加工製品の高付加価値のための施設導入や、県産材の利用促進に積極的に取り組んでまいります。

会員の皆様にはこれまでにも増して、秋田の農林水産業の活性化に向けたご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げ、着任にあたりご挨拶といたします。



新任ごあいさつ

秋田港湾事務所長
古山 司

このたびの人事異動により建設部秋田港湾事務所長を命ぜられ、このほど着任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

秋田中央建設業協会並びに会員の皆様におかれましては、日頃より県内の社会資本整備にご尽力いただきとともに県政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、秋田港は土崎港と称された時代から臨海部や背後圏の生産・経済活動を支える拠点として、その時節ごとの社会的要請により整備され、発展してまいりました。

近年は背後地域の交通ネットワーク等の進捗に伴う広域物流拠点の機能強化や港湾施設の利活用に主眼をおいた平成18年の港湾計画に基づいて整備を行ってきたところですが、計画後十余年を経過し、港を取り巻く社会情勢も変化し、新たな事業計画の構想等が立ち上がる中、それらの要請を秋田港に反映させるため昨年6月に港湾計画の改訂を行いました。

計画内容は増加するコンテナ貨物や各種バルク貨物に対応する港湾機能の強化、企業立地を誘導する土地利用計画の見直しのほか、各種施設と連携したクルーズターミナルの形成が主なものとなっております。

特に本港地区はポートタワーセリオンを核として道の駅・みなとオアシスに指定された施設もあり、親水交流拠点及び観光拠点として港から広がる地域活性化への起爆剤として、港湾計画に示された新たなクルーズターミナルへのエリアリノベーションは皆様の関心の高いプランかと思います。今年はそれを後押しするように、クルーズ船の寄港は4月のアザマラ・クエストや世界で最も有名な豪華客船クイーン・エリザベスの初寄港を皮切りに過去最多の23回を予定しており、観光地としての秋田県の魅力やクルーズトレイン運行などの関連施策の効果もあり、翌年以降も世界的に有名なクルーズ船の寄港が予定され、寄港数も更に増加する見込みとなっております。

また同様に親水交流拠点としての港の活用として、9月には天皇皇后両陛下のご臨席が予定されている全国豊かな海づくり大会が港内にて開催され、秋田県の魅力を秋田港から全国に発信する絶好の機会を得ております。



次に、今年度の事業についてですが、主な工事としては、港内に不足している土砂処分場の確保と増加する貨物への対応を目的としたふ頭用地造成の護岸工事を向浜地区にて昨年度に引き続き行うと共に、安定的な荷役作業や企業活動を支える岸壁や航路泊地、臨港道路等の港湾施設の維持補修工事を行います。その他、港湾における防災対策の一環として、来訪者や立地企業労働者の安全確保を目的とした津波による漂流物対策施設等の調査を進めることとしております。

さらに、未来に向けて秋田港が担う役割を果たすため、国策に呼応した再生可能エネルギー施策である洋上風力発電事業の建設・維持管理拠点としての港湾機能の拡充を進めるほか、新たな秋田港の姿を示す港湾計画の具現化に向けて関係機関との調整を図ってまいります。

最後になりますが、改元とともに新たなスタートをきった秋田港において、令和の時代にふさわしく、過去から現在そして未来へと県民の生活を支える社会資本としての港づくりを進めてまいりますので、皆様のなお一層のご支援とご協力をお願いいたします、新任のご挨拶といたします。



(一社)秋田中央建設業協会事務局長

新任あいさつ 田中道

このたび、4月1日付けで事務局長を拝命いただきました田中道でございます。もとより未熟で経験もなく、身に余る重責ですが、本協会の発展、繁栄のため粉骨碎身努力する所存でございます。

ところで、私は、昭和58年に秋田県土木技術職員として入庁させていただき、以降36年間、名前が理由なのか、道路関係を中心とした建設行政に携わってまいりました。

この間、秋田建設には3回、のべ7年間在籍しており、会員の皆様には特に道路維持管理業務において大変お世話になったことが思い浮かばれます。

地域を支える建設業の役割は大変大きいものがあり、地域の生活、経済活動の基盤となる社会資本の整備だけではなく、安定した雇用の場をつくり、地域経済を担っている大きな産業の一つです。社会インフラ整備を通じ、県民生活の向上や経済の継続的成長、雇用の下支えをしていくという重要な役割を担っており、整備されたインフラのメンテナンス、

防災・減災対策、除雪や災害時対応等、県民の安全・安心、快適な生活の維持や経済成長に貢献していくという役割は不変であり、建設業のやりがいだと感じております。

しかしながら、近年、建設投資が抑えられ、少子高齢化社会の中で建設業界への就労人口も減少しております、地域の守り手としての役割も危機的状況にあり、人材確保と担い手の育成が喫緊の課題であります。

地域に根差し頼りにされる建設業としての仕組みを構築するため、個々の企業の経営強化、ITなど技術活用による経営の質の向上、地域の基幹産業として若者に支持され安定的に雇用が確保できる魅力ある建設業の構築が必要となり、今後、協会の果すべき役割が益々重要と感じております。

微力ながら、事務局職員とともに頑張っていきたいと思っておりますので、会員の皆様のご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

女性部会設立準備委員会開催

建設業の担い手不足を解消し、さらに男女ともに働きやすい環境を実現していくため、当協会では「一般社団法人 秋田中央建設業協会 女性部会」を設立することとなり、今後の部会の活動方針等を検討するための設立準備委員会が4月23日(火)当協会2階小会議室で行われました。準備委員として、(株)栗野工務店 代表取締役 高橋章子さん、伊藤工業(株) 横渡博子さん、(株)清水組 菊地千春さん、秋田瀝青建設(株) 大友円さんの4人が参加し、規約や総会次第の骨子について検討・協議しました。

協議の結果、設立総会を10月開催とし、今後準備を進めていくこととしました。準備委員

の皆さんには、設立総会に向けて今後もさまざまな課題について、ご意見をいただく予定です。



4月23日(火)午後3時から当協会3階大会議室において、建設共済制度及び建退共制度の説明会を開催し、協会会員・協力会社24名が参加しました。

1. 建設共済保険(法定外労災補償制度)について
2. 建設業退職金共済制度について
3. 質疑応答

建設共済制度 及び建退共制度 説明会開催



理事会・委員会

◎経営・総務委員会

4月12日(金)午後1時30分から開催し、次の事項について審議した結果、委員会として了とし、理事会に付議することとしました。

1.会員権の継承について

(菅原(廣)委員長、平野・長谷川副委員長、齊藤・珍田委員)

◎理事会

4月15日(月)午前11時から協会2階小会議室において第1回理事会を開催し、次の事項について審議した結果、議案1,3,4,5についてはいずれも承認され、2については再審議となりました。

議題

- 1.経営・総務委員会の審議結果について
- 2.会員権の継承について
- 3.平成30年度事業報告及び収支決算について

4.平成30年度公益目的支出計画実施報告書について

5.令和元年度(第72回)通常総会に付議すべき事項について
(加藤会長、加藤・山岡副会長、武田・沢木・林・齊藤・菅原・畠山・渡辺・加賀屋・伊藤(満)・藤田・佐々木(創)・長谷川理事、加賀谷・加藤(正)監事)

◇会員権継承承認者

(株)菅与組
代表取締役 菅原 孝次郎

第26回建設業経理士検定試験(1・2級)のご案内

建設業経理検定試験は、建設業経理に関する知識の向上を図ることを目的として実施されており、

1級及び2級の検定試験は「建設業経理士検定試験」として年2回実施されております。

なお、1級、2級合格者は入札可否の判断の資料となる経営事項審査の評価対象の1つになります。

1. 申込受付期間

令和元年5月17日(金)～6月18日(火)

2. 試験日

令和元年9月8日(日)

1時限目	1級財務諸表	9:30～11:00
------	--------	------------

2時限目	1級財務分析	12:00～13:30
------	--------	-------------

2級		12:00～14:00
----	--	-------------

3時限目	1級原価計算	14:30～16:00
------	--------	-------------

3. 申込方法

Ⓐ インターネットによる申込

Ⓑ 「受験申込書」郵送による申込

※ 申込書は当協会窓口でも配布いたします。

1級(1科目) 7,410円 1級(2科目同時) 10,600円

1級(3科目同時) 13,680円 2級 6,280円

4. 受験料(税込)

令和元年11月11日(月)

5. 合格発表